

## 「クルーズ・ SHIPPING・アジア 2011」の開催について

シンガポール事務所

### はじめに

2011 年 11 月 16 日（水）から 18 日（金）にかけて、マリーナ・ベイ・サンズにおいて、「クルーズ・ SHIPPING・アジア 2011」が開催された。この催しは、世界各国のクルーズ船会社や旅行会社、政府観光局などが出展するクルーズ関連産業の国際見本市で、日本からは日本政府観光局（JNTO）、堺港、九州運輸局・九州観光推進機構、日韓海峡沿岸協議会がブースを出展し、寄港地としての魅力を PR した。

### 震災からの復興を PR

16 日（水）に会場内で実施された日本代表団記者会見では、JNTO シンガポール事務所の足立基成所長が登壇し、震災後に各国から寄せられた支援への感謝を伝えるとともに、日本の客船誘致は震災の影響を受けたものの寄港数は順調に回復していることを説明した。併せて、クルーズのモデルコースをいくつか提示しながら観光地の魅力を伝えた。

また、期間中は、船会社をはじめ業界の有識者をパネリストに迎えたカンファレンスも開催され、この中で、九州運輸局の河原畑徹・企画観光部長が単独でスピーチを行い、訪日の安全性と客船誘致への一層の取組みを PR した。



日本代表団記者会見の様子

### 所感

各ブースを訪れる船会社や旅行会社の関係者からは、寄港地周辺の観光スポットや、モデルコースについての質問が寄せられ、日本への寄港に対する関心の高さを窺い知ることができた。ただ、日本国内においては、大型のクルーズ船を誘致できる港湾はそう多くはなく、インフラ整備の必要性を唱える声も聞かれた。クルーズ船の寄港は、日本を訪れる観光客の増加に繋がり、経済効果も大きいことから、港湾インフラ整備が当面の課題であることを痛感した。



JNTO ブースの様子

### 終わりに

本催しは、来年度もシンガポールにおいて 2012 年 10 月 17 日（水）～19 日（金）の日程で開催されることが決定している。より多くの自治体に参加することを期待するとともに、当事務所としても、自治体のクルーズ船誘致活動に協力していきたいと考える。



ビジネスマッチングセッション  
（商談会）も行われた。

(11/16～11/18 マリーナ・ベイ・サンズでの聞き取り等)  
(中村所長補佐 宮崎県派遣)